

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(豊岡小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・ 現状の協議会の良さを保ちつつ、地域・学校の協働活動を増やしていく。
- ・ 学校運営協議会の活動について、PR方法や活動報告方法等の改善を熟議し、取り組む。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

それぞれの委員の立場や経験に基づいて、他方面の視点で熟議することができた。
本校のグランドデザインにより、教育目標及び学校像が明確である。また、学校長より時代背景からくる問題点について報告があり、この解決のため児童のみならず教師に対するアプローチ、また、いじめ防止基本方針について説明があり、本年度の基本方針を確かめることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

今年度の学校の様子、いじめへの対応など説明があり基本方針に沿った取り組みがされている事を確認できた。

学校の示すグランドデザインを基に、一つ一つを検証すると共に全体像としてのバランスをも議論することができた。

学校支援については熟議を進めることができたが、この支援を受ける児童や保護者への学校教育活動への理解や支援については協議会と受ける側でギャップや理解に差が生じる為、その溝をどのように埋めるかが課題であると感じた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

本校のホームページにCSの項目を設けて会議内容を公表していることは評価できるが、保護者や地域住民における本会の認知は高いとまでは言えない。また、ただ発信しっ放しのような印象を受ける。地域への広がりには欠けると思う。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

それぞれの委員の得意分野を基に議論できる関係性と雰囲気を持続し校長の強い思いを基に協議会の委員として発信していく。

学校運営協議会の活動について、PR方法や活動報告方法等の改善を熟議し、取り組む。